

TTC標準
Standard

JF-IETF-STD64

RTP: リアルタイムアプリケーションの
ためのトランスポートプロトコル

(RTP: A Transport Protocol for
Real-Time Applications)

第 1 版

2005 年 6 月 2 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたSTD64に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2005年6月2日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 3551, RFC 2119, RFC 1305, RFC 2279, RFC 1034, RFC 2822, RFC 3261, June 2002.

RFC 2327, RFC 2326, RFC 1750, RFC 2762, RFC 3513, RFC 1918, RFC 1627, RFC 2401,

RFC 1423, RFC 2914, RFC 1321

IETF STD: STD 5 (RFC 791), STD 13 (RFC 1035), STD 3 (RFC 1123)

ITU-T 勧告: H.323 (2003)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、RTP (real-time transport protocol)を記述する。RTP は、マルチキャストおよびユニキャストのネットワークサービス上で、音声や、ビデオ画像、シミュレーションデータなどのリアルタイムメディアを伝送するアプリケーションに適したエンド-トゥ-エンドのトランスポート機能を提供する。RTP は、リソース予約などは行わず、リアルタイムサービスの品質(QoS)を保証するものではない。データのトランスポートは、大規模なマルチキャストネットワークに対応可能な形でデータ配送に関するモニタリングが可能で、最小限の制御と識別機能を提供する制御プロトコルである RTCP によって強化される。RTP と RTCP は、下位のトランスポートとネットワークレイヤのプロトコルとは独立となるように設計されている。本プロトコルは、RTP レベルのトランスレータとミキサーの利用をサポートする。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF STD64/RFC 3550 : 「RTP: A Transport Protocol for Real-Time Applications」